東金町一丁目西地区地区計画　変更に関する意見一覧

◇意見交換会及び説明会開催概要

・第一回意見交換会

令和６年 10 月 22 日（火）　19：00～20：30

参加人数：73 人

・第二回意見交換会

令和７年　1 月 23 日（木）　19：00～20：30

参加人数：56 人

・都市計画法 16 条に基づく説明会

令和７年　7 月 12 日（土）　10：00～11：30

参加人数：39 人

◇地区計画についての主な意見・質問と回答

【理科大学通りの拡幅について】

Ｎｏ.	意見・質問	区回答
1	道路拡幅部分になる宅地への対応はどうなっているのか。	線路沿いの区有地を代替地として提供する方針を説明。
2	理科大学通り全体の道路拡幅の事業スケジュールを示してほしい。	段階的な道路拡幅スケジュールを説明。
3	理科大学通りは歩道が狭く、歩道を自転車で通行したり、歩道に駐輪したりしており、歩行者の安全が脅かされている。	将来的な全体の幅員構成及び自転車通行帯を設けることを説明。
4	歩行者の安全のため理科大学通りの一方通行化はできないか。	水元方面からのバスを考慮すると、一方通行化は困難であることを説明。
5	理科大学通り歩道の安全確保は、長期的な対策と短期的な対策が必要ではないか。	すでに実施済みの短期的な対策と拡幅整備後の幅員について説明。
6	金町駅前の歩行者の混雑対策はどうなっているのか。既存の駐輪場を狭め、隣接の区有通路を拡げる等の対応は検討しているのか。	将来的に駅前広場を拡幅すること、駐輪場の廃止及び沿道地権者の再建のための代替地として活用する方針であることについて説明。

【理科大学通り沿道の賑わいの維持、魅力向上について】

Ｎｏ.	意見・質問	区回答
1	都内で賑わっている商店街を参考にすることや、歩道上のベンチ等を充実させる必要がある。また、歩行者が回遊・滞留するには魅力的な店舗の進出が不可欠であり、特に学生向けの施設が必要。	今後も賑わいの作り方を継続して検討していくこと、学生が多い環境を活かした賑わいづくりは、地方の方々と協力しながら、ハード整備と併せて検討を進めていくことを説明。
2	賑わいや魅力づくりに関し、学生や子育て世帯など、どの層をターゲットとするのか、また単に店舗を増やす方向性なのか。	特定のターゲット層に絞り込んだルールを設ける予定はなく、エリア全体として商業機能を確保していく考えを説明。
3	学生と住民がともに行きたい商店街をつくることは難しいのではないか。	商店街等と連携した取組を検討していく方針を説明。

4	建築物の意匠制限に関し、建物が周辺と調和しているかを誰が判断するのか、また具体的な指示を示すべきではないか。	特定の色を指定するものではなく、理念を共有することを目的としており、区が特定の色や細部のデザインを指定するものではないことを説明。

【C 地区について】

Ｎｏ.	意見・質問	区回答
1	Ｃ地区の地区施設の整備の方針における、地区北西側区道の歩行空間の拡充とは、具体的に何を実施するか。	歩行者の安全確保に向けて将来的に地区の皆様と意見交換しながら検討を進めていく方針を説明。

◇その他（地区計画以外の意見）

- JR 金町駅について（駅前広場・自由通路・西口改札設置）
- JR 金町駅周辺の駐輪場について
- 市街地再開発事業について
- 金町地区センター跡地の活用について